



インスピレーションになる  
2018-2019  
国際ロータリーのテーマ

# 高萩ロータリークラブ

TAKAHAGI  
ROTARY CLUB  
WEEKLY

国際ロータリー第2820地区  
1970年10月30日設立

発行  
2019.2.6  
第49巻  
第29号  
通巻  
2311号

ロータリー月間 今月: 平和と紛争予防/紛争解決 来月: 水と衛生 月間

1月27日の例会より

## 『第1分区インターシティーミーティング』

1月27日午後2時から北茨城市大津町の五浦観光ホテル別館大観荘で県内8分区のトップを切って第1分区のインターシティーミーティング(IM)が開催された。

今回のIMは、第1分区のガバナー補佐篠原裕治氏を輩出している北茨城RCがホストクラブで、茅根修善氏が実行委員長を務めた。

会場ホテル入口では北茨城RCの会員数名の出迎えがあり、会場内受付ロビーにも北茨城RC会員の皆様の丁寧なお出迎えを受けた。会場4階に上がると、大きなガラス窓越しに、好天に恵まれた太平洋が、そして有名な六角堂も白波が立つ岩の上にはっきりと見えた。参加した各クラブ会員もしばし素晴らしい景色を見ながら新年のあいさつをしたりして談笑していた。

開会前に、水戸雅楽会による歓迎の雅楽演奏があり、2時に篠原ガバナー補佐の点鐘で開会された。その後、茅根IM実行委員長の開会の言葉、菅野ホストクラブ会長の歓迎のことばがあり、続いて篠原ガバナー補佐から来賓・役員等の紹介、挨拶があった。(それぞれの挨拶は小冊子を参照)

高橋賢吾ガバナーの挨拶の中では、現在第2820地区には1975名の会員がいるが危機的状況にある。ぜひ会員増強を強力に進めていただきたい。増強が難しければ退会をしないよう努めてほしい。また10年前に水戸好文RCができてから新しいクラブが誕生していない。今年度は2820地区にeクラブを是非誕生させたいと熱く意気込みを見せていました。

また地域社会の人達、行政、団体この方たちと一緒にラップしてロータリーファミリーの構築というのを頭の中に入れて後半の事業を展開していただきたいと話していた。

終わりに来年のRI会長テーマは「ロータリーは世界をつなぐ」である。その方針がマイロータリーに出ている。ぜひ見ていただきたい。そしてこのIMにより第1分区各クラブの交流と親睦が深められることを心から願いますと挨拶された。

来賓として出席した豊田稔北茨城市長は、窓越しに見える大海原を観ながら、「天心が想い、大観が描き、雨情が詠う」文化の香りが高い北茨城市へようこそと歓迎のあいさつをされた。そして、この紺碧の空、群青の海。北茨城は海と離れられない。ここから見ますと穏やかで素晴らしいと感じるが、この母なる海は北茨城市には大変な海でもある。何名かの命を飲み込んだ海。文化をはぐくんだ海。また沿岸地域の人には豊穡の海でもあると話した。

また今年の極暑に対し、新聞では災害だと。災害であるならば、それは取り除かなければならない。そのようなことで、日立市、高萩市、北茨城市では、急遽学校にクーラーの設備費を予算化することになった。政府では1/3 拠出するとしていたが、実質は16%の補助事業になってしまった。

国の重要無形文化財に指定を受けて初めてのお船まつりが5月2・3日に開かれる。ぜひ見に来てほしいと話されていた。

月 日	プログラム	担 当	1月27日 出席報告		
			会員数	出席者	欠席者
2月 6日	クラブ協議会	会長・プログラム委員会			
2月13日	職場訪問	プログラム委員会	29	16	10
2月20日	外部卓話	プログラム委員会			
2月27日	クラブ協議会(50周年記念式典)	会長			
			出席率 : 61.53%		
			前々週訂正 : 80.76%		

事務所 : 〒318-0033 高萩市本町2-65  
常陽銀行高萩支店内 TEL/FAX : 0293-24-0505  
■URL <http://takahagirotaryclub.web.fc2.com/>  
■E-Mail : [takahagi-rotaryclub@h7.dion.ne.jp](mailto:takahagi-rotaryclub@h7.dion.ne.jp)

会 長 : 福田 文乃  
幹 事 : 大河原 浩  
例 会 : 毎週水曜日 12:30~13:30  
公共イメージ委員: 田所和雄 石 平光 上田良三 小森勇一  
大高司郎 石 君平 花園文熙 棚谷 稔 鈴木直登

四つのテスト

言行はこれに  
照らしてから

1. 真実かどうか 2. みんなに公平か 3. 好意と友情を深めるか 4. みんなのためになるかどうか



水戸雅楽会の演奏



篠原裕治ガバナー補佐  
挨拶する高橋賢吾地区ガバナー



篠原裕治ガバナー補佐挨拶



ご来賓の方々



主催者の皆様



小泉晋弥茨大教授の基調講演



挨拶する豊田稔北茨城市長



次期ガバナー補佐とホストクラブ会長の挨拶



## I. M 新年懇親会



# 出前講座を開催

1月31日（木）午後1時35分から3時30分まで秋山中学校で「職業の意義と喜び」と題し、出前講座が開催しました。この出前講座は、1年生を対象に毎年開催しています。



中学生に職業の現場の声を聞いて具体的に職業について学習し、職業の意義や喜び、そこに到達する努力について学び、進路についての識見を深め、どのように生活と学習を築いたら良いかを考え、学習意欲と関心を育てることを目的に、青少年奉仕委員会と職業奉仕委員会が共同で開催しているものです。

今年は、特別ゲストとして、当クラブの名誉会員である声楽家國井美香さんに参加していただきました。國井さんがなぜ声楽家になったか、どのような勉強をしたか等々中学生を前にその経験を語られました。そして最後に、「自分の可能性に挑戦をしてください。」と熱く語られました。生徒たちも世界的に有名なそして日本人で唯一ローマ法王の前で熱唱した國井美香さんの話を興味深く熱心に聞いていました。



写真左Ⅱ生徒たちの前で話す  
國井美香さん

パネラーには、大森正子さん（介護施設水方苑調理師）、日下部出さん（聖徳れんげ保育園保育士）、沼田貴臣さん（高萩消防署救急救命士）、山田裕子さん（大塚郵便局課長）の4名にお願いをしました。

パネラーの皆様には、はじめに、それぞれの氏名、会社名、仕事の内容、どうしてその仕事を選んだのか等、約3分程度お話をしていただきました。その後、自分で興味のあるパネラーの方の所へ行きインタビュー形式でさらにお話を聞いたり質問をしたりしていました。

救急救命士には、火災のときの一人の消防士が背負う設備の重さは何キロぐらいあるのかとか、保育士には、保育するとき一番難しい年齢は何歳かなど聞いていました。



興味深く生徒たちの質問を聞く  
國井美香さん=写真中央